

三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会を開催

「一日も早い着工・全線開業」の実現を目指し決議

平成30年12月17日（月）ホテルグリーンパーク津において、リニア中央新幹線の名古屋～大阪間の早期着工を目指し、リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会（会長 鈴木英敬）、リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会（会長 荒井正吾）、リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会（会長 岡本直之）、リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会（代表 松井一郎、代表 松本正義）の共催により建設促進大会を開催しました。

当日は約370名が参加、主催者を代表して鈴木三重県知事、荒井奈良県知事、新井純大阪府副知事が挨拶し、来賓の衆議院議員 川崎二郎氏、竹本直一氏、江口修二国土交通省大臣官房技術審議官（鉄道局担当）、金子慎東海旅客鉄道(株)代表取締役社長からそれぞれご挨拶がありました。



その後、岡本会長が「一日も早い着工・全線開業」の実現を目指した決議案を朗読提案し、満場一致で採択されました。

岡本会長は三重・奈良・大阪が連携し、「三重県・奈良県経済団体連合協議会」も、ルート・駅位置の早期確定、1日も早い着工・全線開業に向け、「三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進会議」の一員として、一致団結して取り組んでいく所存であると結び、大会を終了しました。

▲大会決議案を提案する岡本会長 大会終了後は、国土交通省大臣官房審議官（国土政策局担当）の佐竹洋一氏から「スーパー・メガリージョン構想検討会の検討状況について」と題した講演を拝聴しました。



▲ 建設促進大会の様子